

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	大妻女子大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	オオツマジョシダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F113310102948
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	東京都
	大学等名1(代表大学等)学校種別	私立大学
	科目名	インターンシップ
	学部・研究科等名	家政学部食物学科食物学専攻
	担当教職員名・役職	田中 直子：教授、山形 純子：専任講師
	受講者数実績年度	令和3年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	72
	受入企業等数	12
	受入企業等名	(株)マルマサフード、(有)ウッドヴィレッジ、日本ケロッグ合同会社、千葉県ヤクルト販売(株)、(株)はくばく、(株)ファンケル、雪印ビーンスターク(株)、カルビー(株)、雪印メグミルク(株)、サンスター(株)、昭和産業(株)、日東富士製粉(株)
	インターンシップの分類	5.他県をまたぐ広域インターンシップ
		8.大企業・グローバル企業でのインターンシップ
9.中小企業でのインターンシップ		
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
		2.企業等における課題の解決(例：ワークショップ、PBL型プログラム、課題解決ワーク、課題事例研究等)
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
1-3.上記回答内容に関する詳細	実習先についての事前調査や課題提出等を行った上で実習に参加することで、その職業の業務概要を理解するとともに、職業人として求められる人材について学び、進路選択に資する能力を育成する機会としている。	
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	6.当該インターンシップは、選択科目として実施している
		8.当該インターンシップは、休業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部3年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 1単位
2-5.上記回答内容に関する詳細	3年次を対象に、事前学習として企業研究やマナー研修を行った上で、休業期間中に実習を行い、終了後は報告会を開催している。	
3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい	
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている

要素③		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
		2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている
		3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている
	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等に赴き、学生と面談を実施している
		2.インターンシップ中に、学生が定期的に大学等において教職員と面談を実施している
		3.その他
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	その日ごとの研修日誌の提出
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	前年参加者による報告会の聴講、質疑への参加 参加企業の事業内容に関する事前調査
3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	報告書の提出 参加者による報告会を実施し、体験および成果を共有	
3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	行った研修内容、得られたこと、感想、反省等を記載	
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
		4.その他
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	実習先の担当者にも評価していただいている。
4-3.上記回答内容に関する詳細	実習前に希望企業に関する調査を行い、学生の動機付けを行っている。 また、実習後に報告会を開催することで、実習前後の学生の変容を把握・共有している。	
要素	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
		2.事前・事後学習との組み合わせにより、計5日間以上の実施期間を確保している
	3.複数の企業等においてインターンシップを実施することにより、計5日間以上の実施期間を確保している	

⑤	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	実施2～3日 + 演習課題2～3日
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	事前1日 + 実施2～3日 + 事後1日
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	2～3社で実施。1社は1～2日。
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	事前1日、実習2～3日（2～3社で実施もあり）、事後1日で計5日以上の実施としている。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
		2.大学等が行う事前・事後学習等に企業等も参画し、協働して実施している
		3.企業担当者が学生に対して適切に関与し、目標達成に導くなど、大学として必要な支援を行っている
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	4.受入企業等も、インターンシップ中の学生に対する評価を実施している
6-3.上記回答内容に関する詳細	企業と共同してプログラムを設計しているため、事前学習に参画いただき、最終的には実習先の担当者にも評価していただいている。	
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	https://unipa.otsuma.ac.jp/up/faces/login/Com00501B.jsp
問い合わせ先	大学等名	大妻女子大学
	担当部署名	教育支援グループ
	担当者役職名	
	担当者氏名	
	電話番号	03-5275-6061
	メールアドレス	kyoiku@ml.otsuma.ac.jp